



観察会の様子 (写真上) と絶滅危惧種のスナヤツメ (写真右下)

中野川で発見！絶滅危惧種のスナヤツメ

事業報告／スクラム教室

若宮小児童を対象に、様々な体験活動を行う「スクラム教室」。7月は、大分生物談話会の高野裕樹さんを講師に迎え、水辺の生き物の観察による環境学習会を開催しました。

観察会は、地域を流れる中野川（南元町公園近く）で開催。1時間ほど生物を探した結果、鯉、ドンコ、カワヨシノボリ、トノサマガエルなど 12～14 種類

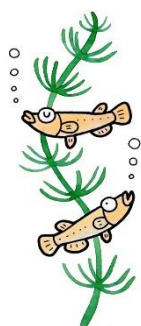
の生き物を発見することができました！一番たくさん捕まえたのはギギ。昔から日田にいるアリアケギバチ（ギユウギユウ）によく似た魚ですが、もともと日田にはいない国内外来種です。

そして今回、一番の発見はスナヤツメ。「レッドデータブックおおいた 2022」に絶滅危惧ⅠB 類として記載されている珍しい魚です。捕まえた子どもも嬉しそうでしたが、周りの大

人も興奮していました（笑）

また今回の活動では、傘・カーペット・たばこの吸い殻などホントにたくさんのゴミを見つけました…

参加した子ども達は、今回の活動で身近な川にたくさんの生き物、珍しい生き物がいることに気付き、同時にゴミの多さ、外来生物の多さにも驚いたようです。今回の活動が、川を大切にするきっかけになってもらえればと思います。



オカリナのキレイな音色に合わせて

事業報告／女性セミナー

7月の「女性セミナー」は、マザー・アース人権啓発研究所主宰である山口裕之氏を講師に招き、オカリナ演奏と語りのハートフルコンサート「歌い継がれるメロディ、いのちのうた」と題して、講演をしていただきました。

オカリナの音色に合わせて、同和問題を中心とする人権問題について、わかりやすくお話ししていただきました。

オカリナのキレイな音色は、人権問題に関する学びに加え、コロナ禍の中、ホッとできる癒しのひと時となりました。



とってもキレイな音色でした♪

独創的な作品がいっぱい

事業報告／夏休み子ども広場

小学校の夏休みを利用して、日ごろはできない創作活動に取り組む「夏休み子ども広場」。講師に元小学校校長の川述敏文さんに来ていただき、8月に5日間の日程で開催しました。

教室は毎回、絵画表現とものづくりの2部構成。絵画表現で

は、色糸を使ったり、マスキングテープを使ったりしながら、自由に独創的な作品を、ものづくりでは、プラスチックで作る竹トンボやCDで作るヨーヨーなど、身近な材料を使って、楽しいおもちゃを作りました。



シャボンアートの様子

3年ぶりの熱い夏 「日田祇園」開催される

地域の出来事

7/23(土)、7/24(日)、3年ぶりに日田祇園が、また7/21(木)には、神事や山鉾が町内を練り歩く流れ曳きも開催されました。

例年9基が出る山鉾は新型コロナウイルス感染症の影響により4基のみが巡行。若宮地区には若宮町と川原町、2基の山鉾がありますが、川原町は巡行を取りやめ、若宮町のみ巡行

しました。法被姿の参加者が山鉾と一緒に市内を練り歩く姿は、街に活気を与えてくれました。



町内を練り歩く流れ曳きの様子

今後の予定

8/17(水) スクラム教室 第4講
22(月) すずめの学校
27(土) スクラム教室 第5講

9/9(金) 子育てサロン
17(土) スクラム教室 第6講
20(火) 寿考教室 第3講
21(水) そば打ち教室 第1講
21(水) 女性セミナー 第3講

只今、「そば打ち教室」の参加者募集中！
詳しくは、広報ひた 8/15号と一緒に世帯配布している募集チラシをご覧ください。

